

定時で帰る GX Works3 活用術

Vol.1
データフロー解析編



データフロー解析で、
デバッグ工数を短縮

設備にトラブル!
早く終わらせて帰りたい!



だから
GX Works3
がおすすめ!

- 状態を確認
- すばやく原因を特定
- 解析、デバッグ



データフロー解析で、
早急にデバッグ

GX Works3で解決！

トラブルの早期解決に役立つ メンテナンス機能

「システムモニタ」では、システムのユニット構成やエラー状態などを確認できます。

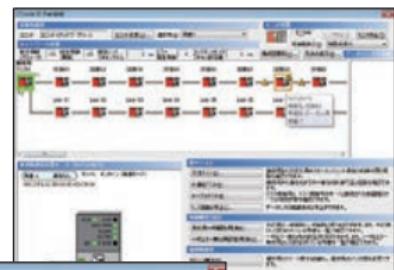
「イベント履歴表示」では、各ユニットで発生したエラーや実行した操作を時系列で確認できますので、トラブルシュートに役立ちます。

「各種ネットワーク診断」では、ネットワークの異常箇所をグラフィカルに表示するため、ダウンタイムを短縮できます。

■ システムモニタ



■ CC-Link IE Field 診断画面



エラーの詳細情報、
原因、処置方法を表示

■ イベント履歴表示



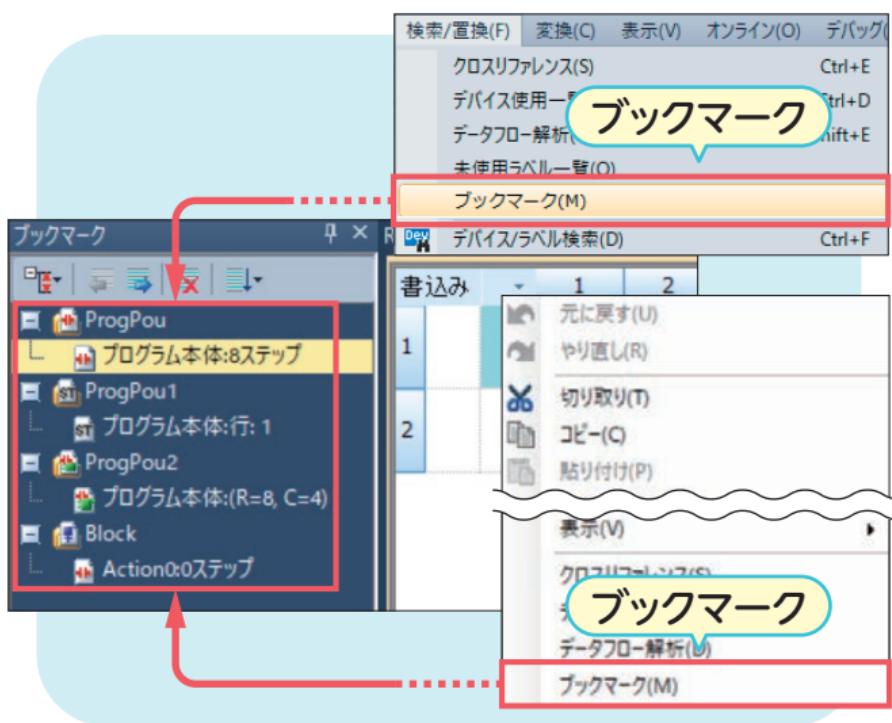
働き方改革は作業の効率UPから!

超速の原因究明

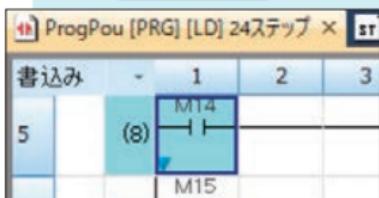


✓ ブックマーク登録

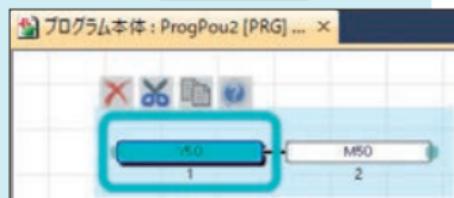
プログラムの位置情報をブックマークに登録できます。トラブル発生時の要因分析がすぐに行えます。



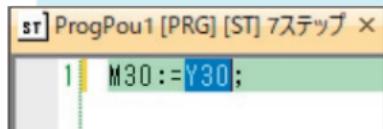
ラダー



FBD



ST



プログラムエディタ
・Enterキー押下
・ダブルクリック
・「開く」メニュー押下

データフロー解析、プログラムエディタに対応

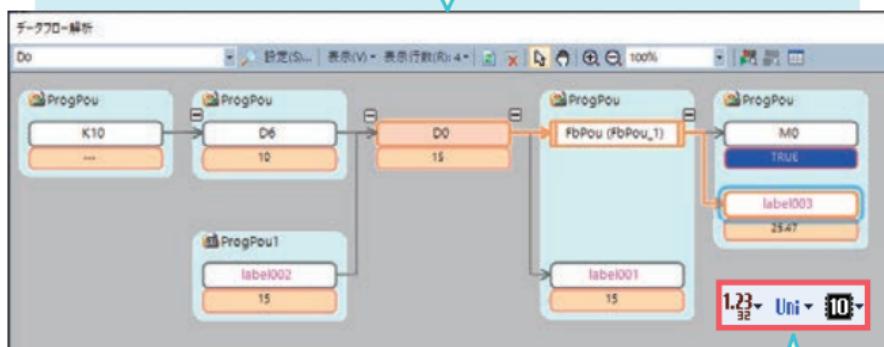


確認時間を短縮できる

✓ フロー図モニタ値表示

フロー図にモニタ値を表示することで、モニタ値の変化を容易にトレースできます。

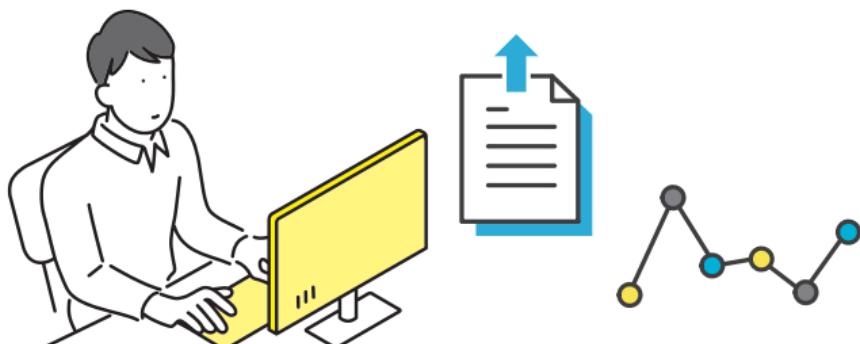
デバイス/ラベルのモニタ値を表示



スマートタグで現在値表示するデータ型と
進数表示を変更可能

✓ 一括インポート/エクスポート

設定値のインポート/エクスポートに対応。ファイルを編集、インポートすることにより、一括で設定できます。

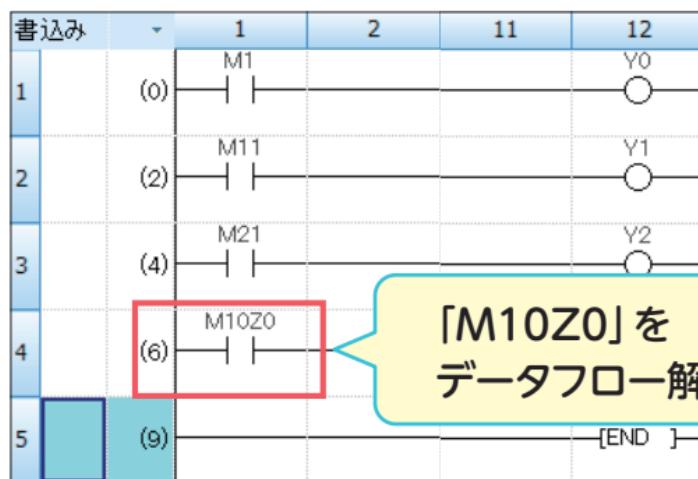




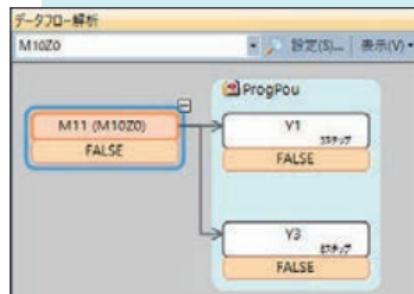
解析効率を上げる

インデックスレジスタ値を考慮した解析

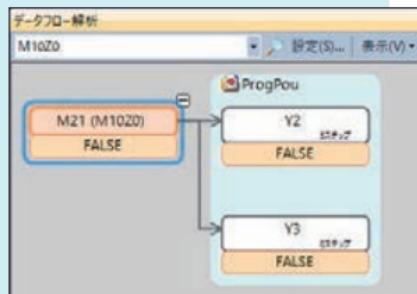
オフラインモニタ実行中に、インデックスレジスタの値を考慮したデータフロー解析を実施できます。



Z0 = 1 の場合



Z0 = 11 の場合



// デバッグ時の解析効率を向上 //

デバイス値を素早く特定

修飾されたデバイス値とインデックスレジスタの値から、解析対象のデバイスを特定し、データフロー解析を実施できます。

データフロー解析の詳細は、こちらのサイトでもご覧いただけます。

三菱電機FAサイト
教えて! GX3号



その他の新機能、マニュアルはこちらからダウンロードできます。

三菱電機FAサイト



カタログ*



マニュアル*



*: 閲覧には「FAメンバーズ」のご登録(無料)が必要です。

